

## 国民体育大会

### 【会場地視察について】

原則として、大会開催 6 年前に実施される会場地視察は(財)日本ハンドボール協会競技本部長が担当する。

平成 21 年は、長崎県、及び和歌山県が正規視察予定県となっている。

### 【行幸啓について】

(財)日本ハンドボール協会及び開催地は諸連絡を密にして対応する。

会場におけるご説明役は(財)日本ハンドボール協会役員が決定する。原則として、(財)日本ハンドボール協会会長、専務理事又は競技委員長があたる。

### 【中央競技団体役員】

中央競技団体の役員とは下記の者をさす。

競技委員長(1名)

総務委員長(1名)

総合成績計算委員長(1名)

審判長(1名)

副審判長(1名)

審判員(中央競技団体と開催地の区分となる)

### 【チーム名】

都道府県対抗の大会であるので、チーム名は都道府県とする。

### 【ユニホーム】

ユニホームの前面に都道府県を入れたチーム名を表示しなければならない。チーム名は漢字、ひらがな、アルファベットの制限をしない。大きさの制限をしない。縦書き、横書き、斜め書き等の書体の制限をしない。ユニホームの後ろに「 県選抜」「個人名」を入れることは許される。

ユニホームに単独のチーム名を入れる場合は、袖に入れることができる。

ユニホームに広告をつけることは禁止される。

### 【開催及び開催予定】

平成 19(2007)年(第 62 回大会)秋田県・・・監督は(財)日本体育協会公認指導者でなければならない(ハンドボールコーチ  
ハンドボール指導員)

平成 20(2008)年(第 63 回大会)大分県

平成 21(2009)年(第 64 回大会)新潟県

平成 22(2010)年(第 65 回大会)千葉県

平成 23(2011)年(第 66 回大会)山口県

平成 24(2012)年(第 67 回大会)岐阜県  
平成 25(2013)年(第 68 回大会)東京都  
平成 26(2014)年(第 69 回大会)長崎県・・・平成 21(2009)年正規視察予定県  
平成 27(2015)年(第 70 回大会)和歌山県・・・平成 21(2009)年正規視察予定県  
平成 28(2016)年(第 71 回大会)岩手県  
平成 29(2017)年(第 72 回大会)愛媛県

### 抽選会

#### 【国民体育大会組合わせ抽選会実施に関わる考え方】

平成 21 年 5 月 20 日付け、(財)日本体育協会国民体育大会委員会は通知を出し、組合わせ抽選会の実施に際しては、下記の事項を遵守して、中央競技団体主導の下にとり行うこととした。

- 1 抽選方法については、日本体育協会(以下、日体協という。)に事前申請し、承認を得たものでなければならない。
- 2 抽選会においては、日体協国体委員が次の手続きをする。
  - (1) 日体協国体委員が立会う趣旨について説明する。
  - (2) 日体協国体委員が、くじを引く等、実際の抽選を行う。

日体協国体委員いがいが抽選を行うことはできない。
  - (3) 抽選会終了後、組合わせ結果の様式(書類)に、日体協国体委員が署名(サイン)する。
- 3 組合わせ抽選においては、完全な無作為による方法で行うことを第一義とする。但し、強豪都道府県に対して、シードを含む抽選時の配慮等を行う場合、別紙「国民体育大会の各競技会抽選に係わるシード等について」の範囲内で行うものとする。
- 4 抽選会において、その実施方法・内容に疑義が生じた場合は、日体協国体委員の指示により、その場で抽選会を中断させ、改善を求めることができることとする。なお、抽選方法について、意図的な不正が発覚した場合、その内容を勘案した上で、当該中央競技団体に対して、相応の処分を課すものとする。
- 5 その他  
コンピューターを用いた方法(省略)

#### 【国民体育大会の各競技会抽選に係わるシードについて】

国民体育大会における各競技会の組合せ抽選に際し、強豪都道府県に対する配慮(シード等)、同一地域(ブロック)の対戦を避ける等の、外部的な操作を加えて抽選を行う場合は、下記 1 に定める条件に合致し、下記 2 の手続きを経た場合に限り実施することができる。

## 1 シード等の条件

(1) 抽選に係わるシード等の配慮については、下記の範囲内において実施することができる。

競技成績を考慮して、強豪都道府県をシードする場合は、前回国体の成績（ブロック大会を除く）の他、次を対象としてシードすることができる。

### 1 成年種別

直近の都道府県対抗形式による国内競技会の成績

### 2 少年種別

直近の都道府県対抗形式による国内競技会の成績及び高校総体の成績

### 3 その他

上記の 1、2 以外において、対象となる競技会を希望する場合には、当該競技団体は、下記 2 手続きにおける日体協への申請時に、当該競技会の名称及び対象とする理由を明記の上、申請を行い、日体協がその可否を審査する。

(2) 抽選に係わるシード等の配慮については、次のような複雑な内容は認めない。

前年の対戦実績を考慮した組合せ（前年に 1 回戦で対戦したので、今年是对戦しないように配慮する等）を行っている抽選方法

他大会の対戦実績を考慮した組合せ（他競技会で対戦しているため、国体で対戦しないように配慮する等）を行っている抽選方法

## 2 手続き

（省略）

平成 6 年度第 3 回国体競技運営水準プロジェクト（平成 6 年 11 月 17 日開催）決定事項

本協会はこの決定事項を遵守して、過去の国体の抽選を実施してきた。

1 開催地に対する優遇的配慮（シード含む）は一切行わないこと。

2 競技成績を考慮して、強豪チームをシードする場合、以下によりシードすることができる。

(1) 成年の種別に関しては、前回国体等の大会の成績を参考にシードすることができる。

(2) 少年の種別に関しては、当該年の孝行そう台東の大会の成績を参考にシードすることができる。

(3) 同一ブロックの都道府県が初戦で対戦しないよう、配慮することができる。

## 【ジャパンオープンの抽選会】

2009 年 7 月 7 日

平成 21 年度第 14 回ジャパンオープントーナメント組合せ抽選会に関する要項

組合せ抽選は、（財）日本ハンドボール協会が下記の要項によって施行する。

組合せ抽選の方法

### 1. シードチームについて

32 チーム参加の種別は前年度第 1 位から第 8 位までのチームをシード対象とする。

16 チーム参加の種別は前年度第 1 位から第 4 位までのチームをシード対象とする。

前年度上位からシードする。シード対象チームが参加しない場合は同ブロック上位チー

ムをシードする。

## 2. 組合せについて

(1) 同一ブロックからの出場チームは1回戦では対戦しない(同一小ゾーンに入れない)。

(2) 抽選は出場枠の多いブロックから行う。

(3) 抽選順序は、西暦で偶数年は南のブロックから北のブロックへ、奇数年は北のブロックから南のブロックへ抽選していく。本年は奇数年であることから、北のブロックから南のブロックへ抽選していく。

(4) 各種別の抽選の順番は男子・女子の順で行う。

(5) シード枠の配置について

32チーム参加の種別はシード順位にしたがって、組合せ表のそれぞれの番号の位置に配置する。

シード順位 1位 - No 1、2位 - No32、3位 - No17、4位 - No16、  
5位 - No9、6位 - No24、7位 - No25、8位 - No8

16チーム参加の種別はシード順位にしたがって、組合せ表のそれぞれの番号の位置に配置する。

シード順位 1位 - No1、2位 - No24、3位 - No9、4位 - No8

## 3. 抽選の手順(ブロックチーム数は、シードチームを含む)

男子・女子

(1) 各種別ともシードチームをシード枠に入れる。第1シードから順に入れる。

(2) 各ゾーンの枠数を確認しながら振り分け、抽選を行う。

(3) 出場チームの多いブロックから中ゾーンのA～Dに振り分ける。

(4) 4チーム出場のブロックを中ゾーンに振り分ける。

(5) 3チーム出場のブロックをシードをみながら中ゾーンに振り分ける。

(6) 2チーム出場のブロックを大ゾーンに振り分ける。

(7) 1チーム出場のブロックを残りの大ゾーンに振り分ける。

(8) 小ゾーンの残り枠を考慮しながら大ゾーンのチームを中ゾーンへおろす。

Aゾーンはa・bゾーンへおろす。

Bゾーンはc・dゾーンへおろす。

(9) 小ゾーンのaからdへ順に番号枠へ各チームを抽選する。

## 4. 確認作業

読み合わせ、チーム名などの誤りがないかを最終確認する。

## 5. 印刷、広報及び通知

(1) 抽選会后、直ちに日本協会、実行委員会で印刷する。

(2) 抽選結果は当日発表とする。

(3) 抽選結果は実行委員会が参加各チームに通知する。